



がっこう
学校だより

がっこう
3月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/toyooka/>

TEL 045-581-3248

がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標：【学び合い 高め合い まちとともに明日を拓く豊岡っ子】

ぎょうじ はぐく
行事で育む

こう ちょう なりた れいこ
校長 成田 玲子

はる じつかん あたは ひ まふゆ さむ ひ さんかんしおん ことば ひ つづ がつ
春を実感できる 暖かい日、真冬のような寒い日と、三寒四温の言葉どおりの日が続いています。2月は
インフルエンザによる がつきゅうへいさ がつきゅう ごと しんがた
インフルエンザによる学級閉鎖が3学級ありましたが、その後は新型コロナウイルス感染症・インフル
エンザともに罹患者は減ってきています。このまま落ち着いた状態が続くよう期待しているところです。

2月は様々な学年行事を実施することができました。5年生は、8日に「ふれあいコンサート」に出かけました。皆、マナーを守って演奏会を楽しむことができました。港の景色を一望できる場所を歩いているときに、「横浜が好き」「横浜に生まれてよかった」と話す子どもたちは、横浜市立学校で目指している「未来を担う横浜の子ども」だと感じました。



大さん橋にて(5年)

このか こべつしえんきゅう ごうどうがくしゅうはつびょうかい かながわこうかいどう こう あつ
9日の個別支援級の合同学習発表会は、神奈川県公会堂に5校が集まって
行われました。3年ぶりの開催のため初めて学習発表会を経験する
子もおお ねん かいさい はじ がくしゅうはつびょうかい けいけん
子も多かったのですが、ファッションショーをし、草木染めやSDGsにつ
いて発表する子どもたちは堂々として立派でした。



学習発表会(7組)

20日の授業参観では、4年生が「十才の成長と感謝を伝える会」を開きました。プログラムの後半に、4年生が考えた『おおきくなるってどんなこと』の群読がありました。「大切な人がふえること」「経験の宝箱が宝石でいっぱいになること」「自分より小さい子を助けてあげられること」など、各学級で考えた素敵な言葉が並んでいました。「弱い自分から強い自分になること」「努力して乗り越えることができること」「命の大切さに気付くこと」など、自分の心をしっかりと見つめた言葉、「いろいろなことが楽しめること」「大きな夢に向かって走っていくこと」と前を向いて生活しようとしていることが感じられる言葉もあり、とても頼もしく感じました。全てを紹介できず残念です。



十才の成長と感謝を伝える会(4年)

横浜市では「認知・非認知能力調査研究事業」を行っています。その研究からは、「非認知能力」は学力によい影響があること、学校行事は「非認知能力」によい影響があることがわかったこととしてあげられています。来年度も、一つ一つの行事に子どもたちとともに丁寧に取り組み、子どもたちの資質・能力の育成につなげていきたいと思います。

令和4年度最後の月を迎えます。学校では6年生の卒業を祝う取組が続きます。6年生は27日に「感謝の会」を行い、卒業式に向けての取組が本格的にスタートしました。6年生の旅立ちを学校全体でお祝いしたいと思います。この一年、保護者・地域の皆様にはご支援をいただき、ありがとうございました。